



簡易ガイド

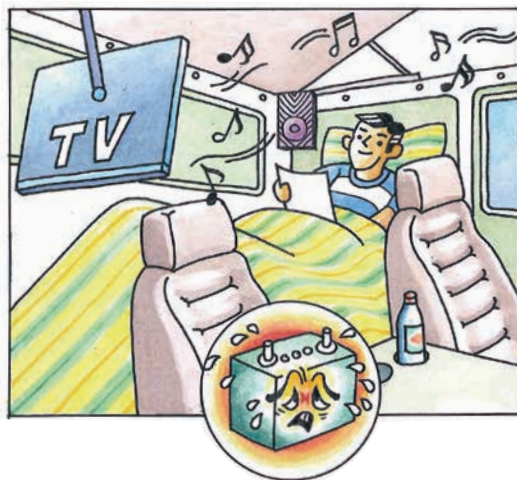
エバスのエアヒータ「エアトロニック」シリーズは、車両本体の空調システムとは完全に独立して作動します。エンジンを掛けずに、即ちアイドリング・ストップ状態で、車内や荷室を快適な温度に暖めます。ヒータのON/OFFや温度調整はコントローラで行います。

ご使用上の注意 詳しくは取扱説明書をご覧ください

- ✗ ヒータの吸入口と温風吹出口の周辺に障害物がないことを確認してください。



- ✗ エンジンを掛けずにヒータを使用する時はテレビなど車載電装品との併用は避けてください。



- ✗ ヒータの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。また、ヒータ本体を拭く時は良く絞った布をご使用ください。



- ✗ ガソリンスタンドや燃料貯蔵庫の付近では使用しないでください。



ご使用にならない夏季の時期には1ヶ月に一度、10分間ほどヒータを作動してください。その際は、最大の温度設定で行ってください。

EasyStart Pro を使ってヒータを操作する

●ディスプレイ

このディスプレイは運転状態、現在の温度等のパラメータを示します。

《メニューとその機能》

メニューバー

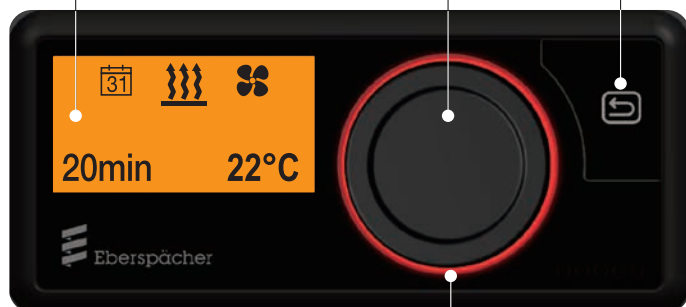
以下のメニューはメニューバー内で選択することができます(操作ノブを右に回す):



アイコン	メニュー
	暖房
	送風
	余熱
	設定
	タイマー

●バックキー

●操作ノブ

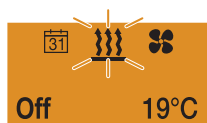


●LEDリング

LEDリングは様々な色に発光し運転モードの状態の表示を行います。

- 赤い点灯：ヒータ運転
- 青い点灯：送風運転
- オレンジの点灯：余熱運転
- 白い点灯：システムの設定
- 赤い点滅：ヒータまたはEasyStart Proに故障がある

暖房



ステータス表示として暖房のアイコン がメニューバー内で点滅し、現在の温度とヒータのステータスが表示されます。

1. 長押しによる暖房のクイックスタート

- 操作ノブを最低でも2秒間押したままにします。

2. 設定を伴う暖房 オン

- 操作ノブを押します。
- 操作ノブを回して運転時間を選択します。
- 操作ノブを押して運転時間を確定します。
- 設定された運転時間が終了すると、ヒータの運転が終了します。

●ヒータの運転中に運転時間を変更する


- 操作ノブを押します。
- 点滅しているメニュー を選択し、確定します。
- 操作ノブを回して設定 を選択し、確定します。
- 操作ノブを回して希望の運転時間を設定し、ノブを押して確定します。

●ヒータ運転中での暖房 オフ

- 操作ノブを押します。
- 点滅しているメニュー を選択し、確定します。
- 点滅表示されている「オフ」の操作ノブを改めて押します。
- ヒータの運転が終了します。

送風





ディスプレイ表示として送風のアイコン  がメニューバー内で点滅し、現在の温度とヒータの状況が表示されます。


1. 設定を伴う送風 オン

- 操作ノブを押します。
- 操作ノブを回して運転時間を選択して確定するか、表示の運転時間を確定します。
- 設定された運転時間が終了すると、送風運転が終了します。

●送風運転中に運転時間を変更する


- 操作ノブを押します。
- 点滅しているメニュー  を選択し、確定します。
- 操作ノブを回して設定  を選択し、確定します。
- 操作ノブを回して希望の運転時間を設定し、ノブを押して確定します。

●送風運転中の送風 オフ

- 操作ノブを押します。
- 点滅しているメニュー  を選択し、確定します。
- 点滅表示されている「オフ」の箇所では操作ノブを改めて押します。
- 送風運転が終了します。

設定




ディスプレイ表示としてアイコン  がメニューバー内で点滅し、設定されている曜日と現在の時刻が表示されます。

設定項目


- 標準設定：曜日、時刻及び温度単位
- 高標高でのヒータ使用：オン/オフ
- 低温暖房運転：オン/オフ
- 故障診断：エラーメッセージの表示
- ユーザー設定のリセット

1. 標準設定


●時刻の設定：

-  を選択し、確定します。
- 時間を設定し、確定します。
- 分を設定し、確定します。


●時刻フォーマットの設定

-  を選択し、確定します。
- 12時間制か24時間制のどちらかを選択し、確定します。


●曜日の設定

-  を選択し、確定します。
- 曜日を設定し、確定します。


●温度フォーマットの設定

-  を選択し、確定します。
- 摂氏か華氏のどちらかを選択し、確定します。


Hydronic S3 12Vのヒータは海拔1500m以上でヒータを長時間使用する際は、燃料供給を高標高に合わせて調整するためこのメニュー内でオンを選択する必要があります。

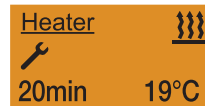
-  を選択し、確定します。
- オン(海拔1500m以上)とオフ(海拔1500m以下)のどちらかを選択し、確定します。

2. 故障診断

-  を選択し、確定します。
- 接続されているヒータかコントロールユニットを選択し、確定します。
- 発生した順番で故障が表示されます。

アドバイス

- 故障が発生すると、ディスプレイにアイコン  を表示します：



- 故障が発生するとすぐにLEDリングが赤く点滅します。操作ノブを押してエラーメッセージを確定すると、点滅が止まります。
- 故障診断に関する詳細は取扱説明書を参照願います。

タイマー

1. タイマーのプログラミング

●ディスプレイに、スタート画面が表示されます。

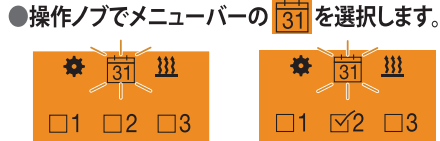


図1: タイマーが起動になっていない場合の表示図

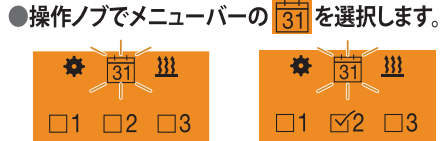



図2: タイマーが起動になっている場合の表示、ここではT2

●操作ノブでタイマーの選択を確定します。
→1番目の「T1」が現れます。操作ノブを回すと、他の「T2」または「T3」が選択できます。

●以下の設定が可能です:

- 操作ノブを回して押すことによりタイマー「T1」のオン/オフ

- ステップ1: メニューバー内で  を選択した後、操作ノブを回してまず曜日/曜日の範囲の選択を行います。曜日は1日ずつ選択して、ノブを押して確定する必要があります。ノブを再度押すと、曜日の選択を解除することができます。選択が終わったら操作ノブを[OK]まで回し、確定します。



- ステップ2: スタート時刻を決定します。ノブを回してまず時間、その後に分を確定します。



- ステップ3: 暖房または送風モードを選択します。



- ステップ4: 装置の運転時間を選択します(最低でも10分、最長で120分)



●暖房レベルを選択します

(自動運転時間算出機能が備わったウォータヒータのみ)

- 暖房レベル ECO = 室温約20°C

- 暖房レベル HIGH = 室温約23°C

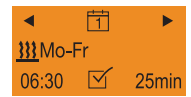
●タイマー「T1」を起動にした後、ディスプレイ上に以下の表示が現れます:

- 暖房モード

- 曜日の範囲: 月~金

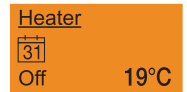
- スタート時刻 6:30

- 運転時間 25分



●タイマー「T1」は起動になっており、次の曜日での規定された時刻にヒータが始動し、25分間運転します。

●タイマーが起動になっていると、ディスプレイ上にタイマーアイコンが現れます:



●タイマー「T2」と「T3」の設定は同様の方法で行います。

2. タイマーを無効にする

起動になっているタイマーを無効にするには、まずそのタイマーを操作ノブで選択してからノブを1度押し、点滅する「オフ」の状態でもう一度ノブを押してください。タイマーの設定はすべて保存されたままになります。

トラブル時の対処

1. メンテナンス隔

●初回セットアップ時に接続したヒータについて取付店がメンテナンス間隔を定めると、

- メンテナンスの時期が来たらユーザーに対し専門ワークショップへ行きメンテナンスを依頼するようにとEasyStart Proがディスプレイに注意表示を出します。



- 装置を4ヶ月間使用しなかった場合、夏季であっても「暖房」機能を10分間オンにするようにとEasyStart Proがディスプレイに注意表示を出します。装置の運転がほんの短い時間であっても、燃焼チャンバーに残っている可能性のある残留物や堆積物が取り除かれ、暖房が必要となる時期でのヒータの正しい作動が保証されます。



2. 不具合/故障の表示

ヒータまたはコントロールユニットに不具合や故障があると、EasyStart Proが操作ノブのLEDリングを赤く点滅させて知らせます。

- エラーメッセージがディスプレイ上に現れ、操作ノブを押すとエラーメッセージとLEDリングの点滅が消えます。

アドバイス

故障診断はメニュー内の  で機能  を使い呼び出すこともできます。

故障診断に関する詳細は取扱説明書を参照願います。



注意してください。
故障が解消出来ない場合は、
サービスショップにご相談ください。

エバスペヒャー ミクニ クライメット コントロール システムズ株式会社
URL: <http://www.eberspaecher-mikuni.co.jp>
当簡易ガイドは2018年11月現在のものです。内容は予告なく変更する場合があります。